

グローバル・ギャグルールが悲惨な影響をもたらすことを警告 IAS 声明

(IAS statement: IAS warns of dire impact of global gag rule)

<https://www.iasociety.org/ias-statement/ias-warns-dire-impact-global-gag-rule>

2025年1月25日（スイス・ジュネーブ） 国際エイズ学会（IAS）は、グローバル・ギャグルールの復活について警戒感を表明し、とりわけ低・中所得国における HIV 対策に悲惨な結果をもたらすだろうと警告している。

このルールは、公式にはメキシコシティ政策と呼ばれるもので、米国から保健分野の援助を受けている外国の組織が、中絶に関するサービスを提供、紹介、または擁護することを禁じている。禁止対象は米国からの資金だけでなく、米国以外の資金がこれらのサービスに使用されている場合にも適用される。ドナルド・トランプ大統領は一期目にこの政策を採用しており、バイデン大統領時代には撤廃されたが、今回も二期目の就任後、間を置かずに政策復活の大統領令に署名した。

「この規則の再適用は大きな困難をもたらし、多数の人命を失うことになる。HIV 対策における最も重要な成果の一部も逆戻りしてしまいます」と IAS のベアトリス・グリンスティン理事長は語る。

「HIV や性と生殖に関する健康を含む医療サービスに打撃を与えることは。これまでの経験からも分かっています。とりわけ HIV の影響を最も大きく受けている地域の打撃は深刻です。グローバル・ギャグルールの悪影響はすでに明らかになっています。女性にとっては基本的な医療を受けることさえ制限されてしまうのです」

グローバル・ギャグルールは HIV パンデミックの火に油を注ぐものだ。メキシコシティ政策によって HIV サービスが中断されたことから、年間で推定 9 万人が HIV に新規感染し、約 3 万人の母子が死亡している。その死亡者のほとんどは子供たちなのだ。

IAS は科学的な根拠に基づく政策を求めている。HIV が公衆衛生と個人の健康に対する脅威でなくなる世界は、女性の医療アクセスを制限するのではなく、保護しなければ実現することはできない。

PEPFAR 凍結が何百万もの人の生命を危機にさらす IAS 声明

(IAS statement: PEPFAR freeze threatens millions of lives)

[IAS statement: PEPFAR freeze threatens millions of lives | International AIDS Society \(IAS\)](#)

2025年1月25日（スイス・ジュネーブ） 既存の助成金や契約に対する業務停止命令を含め、米大統領エイズ救済緊急計画（PEPFAR）による資金援助の即時停止は、何百万という人の生命を危機にさらすことになる。国際エイズ学会（IAS）は警告の声明を発表した。

ドナルド・トランプ米大統領は就任初日、対外援助プロジェクトに新たな政府支出を行う

ことを禁止する大統領令に署名した。さらに 1 月 24 日には予想もできなかった「業務停止命令」が発令され、PEPFAR への資金提供は既存の助成金や契約も含めて凍結されることになった。

「生死に関わる問題です」と IAS のベアトリス・グリンステイン理事長は語る。「PEPFAR は 2000 万人以上に命を救う抗レトロウイルス薬を提供しています。資金援助が停止されれば、実質的に HIV 治療ができなくなるのです。多くの人が亡くなり、HIV 感染は再び急拡大するでしょう」「公衆衛生と個人の健康に対する脅威としての HIV 終結を目指し、世界が取り組んできた努力の大切な触媒役が突然、なくしてしまうことに何の意味があるのか、まったく分かりません」

2003 年の PEPFAR 創設以来、米国政府は世界の HIV 対策に 1100 億ドルを超える資金を投資してきた。その結果、50 以上の国の 2600 万人が命を救われ、何千万もの人の新規 HIV 感染を防ぐことができた。

このプログラムについては PEPFAR 自身が次のように述べている。「PEPFAR による人命救助の活動は、米国政府の揺るぎない信念、および米国民の思いやりと寛大な精神によって可能となっています。PEPFAR は米国の納税者の 1 ドル、1 ドルが効果を最大限に発揮できるよう努めているのです」

政策立案者と利害関係者に対し、IAS はこの極めて重要なプログラムへの資金供給をライフラインとして回復するよう緊急に要請する。人びとの命がまさにいま、そこにかかっているからだ。